

まつばら再発見！第3回「松原市観光写真コンクール」

入賞作品決定

松原市の観光の魅力をPRし、また地域の魅力を再発見してもらうことを目的に作品を募集しました第3回「松原市観光写真コンクール」について、審査の結果、下記のとおり入賞作品が決まりましたので発表します。今回は30人の皆さんから97点の応募がありました。

問合せ 産業振興課



【市長賞】「古池夕照」
恒吉利幸さん（河合）

●写真選評

それにしてもみごとな風景写真です。最高の条件がそろいましたね。そのチャンスを見逃さずにシャッターを良いタイミングで押されています。

まだ青空が残る空には細長く連なる雲々、青、紫、黄、そして朱色とグラデーションが実にあでやかです。

遠くに見える電柱のシルエット、これらが古池に映って幽玄の世界をつくっています。

美しい風景写真を撮るには忍耐力や技術も必要です。作者には写したいものを単純に切り取る力が自然と備わっていると思われま。無駄のないすばらしい写真です。

亀村 俊二（写真家）

【議長賞】「大林寺の数珠くり」
森下和彦さん（東新町）



【審査員賞】「天に昇る龍」
津村直輝さん（別所）



入賞作品を展示します
とき 1月16日(水)～18日(金) 午前9時～午後5時30分
ところ 市役所1階市民ロビー

【金賞】「出初式にて」 河野信行さん（八尾市）

「至福のひとつとき」 和田賢二さん（三宅中）

【銀賞】「憩いの広場」 小野高秀さん（大阪市）・「のこったのこった」 水本利勝さん（三宅西）

「佇む」 中條悦男さん（東新町）・「玉入れ大会」 川口隆さん（東新町）

「犬とお散歩、写メ美人」 中辻廣行さん（堺市）

●審査にあたって

第3回写真コンクールの審査を終えてみて、今年も入賞作品にはすばらしい写真がそろったのですが、ただ一つ残念なことは応募点数が少し減少したことであります。

昨年のすばらしい入賞作品を鑑賞されて少し尻込みなさったのか。どうせ私の写真なんか上等のカメラで撮ったものじゃないから通らないに決まっていると審査の者として推測してしまいました。

どのようにシャープに写っているかよりも、何をどのように見ているかが審査の中心であると考えています。

コンパクトデジタルカメラやカメラ付き携帯を持ち歩

きましょう。

もっと、子どもの目を見た松原市、女性の目を見た松原市、そんな写真作品を観たいものです。

皆さんのお宅に配られる「広報まつばら」の表紙は、すばらしい写真で構成されています。

私はいつも感心させられております。こちらをお手本の一つにされてはいかがでしょう。

そしていつもポケットにカメラを！猫でも花でも街のおじさんでも何気ないときにすばらしい写真は撮れるものです。

次回、期待しております。

亀村 俊二（写真家）